

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和7年度鶴ヶ島第二小学校 第1回学校運営協議会
日時	令和7年5月13日（火曜日） 10時00分～11時25分
場所	鶴ヶ島第二小学校 会議室
出席委員	加藤会長、市川委員、細貝委員、久保島委員、清水委員、大竹委員、 町田委員、廣木委員、田島委員、滝沢委員、岡田委員、 （山崎小学校長）
欠席委員	鹿内委員、砥川委員
事務局	森田正登教頭、森田雄樹事務主任
議題	（1） 学校運営協議会の運営について （2） 役員の選出について （3） 鶴ヶ島第二小学校の教育活動について （4） 熟議「地域の人、力を学校にあつめるには」
配布資料	資料1 令和7年度 学校教育目標・学校経営方針・努力事項 資料2 令和7年度 鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 グランドデザイン
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	・鶴ヶ島第二小学校の教育活動について校長が資料を用いて説明し、 委員から学校経営方針の承認をいただいた。 ・「地域の人、力を学校にあつめるには」を議題にして、意見交換をした。

【議事概要】

<校長>

教育長の挨拶の代読と合わせて、挨拶を行った。

委嘱状の交付を行った。

議題（1）学校運営協議会の運営について

教育委員会から、鶴ヶ島市のコミュニティスクールについての動画説明が行われた。

説明要旨

- ・国は「学校と地域が一体となって子どもを育てることを目指し、地域と共にある学校を実現する」ために、コミュニティスクールを導入した
- ・コミュニティスクールとは、学校運営協議会を設置している学校を指す
- ・学校運営協議会は「教育委員会規則で定めることにより、当該学校の運営及び当該運営の必要な支援に関して協議する機関」とされている

- ・学校運営教委議会の目的は、「市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者や地域住民の学校運営への参画・支援・協力の促進により、学校や保護者、地域住民の信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組むこと」としている
- ・学校運営協議会では、主に「学校教育目標及び運営基本方針に関すること」「学校運営や教育活動に関すること」「その他、教育委員会が必要と認める事項」などについて協議を行う
- ・学校運営協議会の１年間の流れ
- ・コミュニティスクールで大切なことは、目標やビジョンを共有すること。そして、共有した目標に向かって熟議を行っていくこと
- ・学校がやることに「それで良いです」ではなく、「一緒にやりましょう」といった話し合いが理想である

議題（２）役員の選出について

鶴ヶ島第二小学校運営協議会の会長を加藤委員に決定した。

議題（３）鶴ヶ島第二小学校の教育活動について

資料１と資料２を基に、鶴ヶ島第二小学校の教育活動について、校長が説明した。

説明要旨

- 資料１「令和７年度 学校教育目標・学校経営方針・努力事項」は昨年度末の学校運営協議会で承認を受けた内容から変更無し
- 資料２「令和７年度 鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校 グランドデザイン」も昨年度末に承認を受けた内容からほとんど変更無いが、デザインを少し変更した。
- 資料２に記載されている内容について、順を追って説明
 - ・学校教育目標
 - ・目指す学校像
 - ・経営の方針とそのためになんといった教育活動をしていくか

<委員達>

全員で学校経営方針の承認をした。

議題（４）熟議「地域の人、力を学校にあつめるには」

地域の人、力を学校にあつめるには、なんといった取組をしたら良いか意見を募った。

意見

- 地域の願いとして、鼓笛の継続を願う。地域の中には、運動会の鼓笛を楽しみに来ている人も多い。それが無くなってしまうのは、地域の人との繋がりという点では非常に残念と思う。もしも、今まで通りの「学年での鼓笛継続」が難しいのならば、クラブ活動として希望者を募って活動して発表するのは代替案としては

どうか。加えて、卒業生の鼓笛参加も可にすれば、地域の交流が益々盛んになると考える。

○地域の人にとって、学校は中々入りにくいものである。

学校で運動会などの行事を行う時に、ホームページなどで気楽に来校を勧めるアナウンスをすることがあれば、学校に地域の人達が集まるのではと考える。

もしも、それ以外にも地域の人を呼んでも良い、オープンで出来る行事があるのならば、それも呼んでも良いのではないかと考える。

そういったことにより、地域の人とのコミュニケーションを作っていければ良いのではないかと考える。

○地域の活性化には挨拶が欠かせないと思う。

また「道路の右側を歩く」「自転車は左側通行をする」といったルールをきちんと守ることが出来ると良いと考える。

○地域企業の一員として鶴ヶ島第二小学校と共同体制を構築していきたい。

工場見学や持久走大会、町探検なども継続して実施していきたい。

○学校を応援して支えている企業を、「スクールサポート企業」みたいな形で学校の

掲示物やホームページで良いので見える化すると、企業側にとっては雇用が生まれるといった、良い循環が生まれる気がする。

○きちんと情報公開をしながら、まず学校をよく知ってもらう。

学校で何を出来るか落とし込みをしながら、具体的に活動に参加してもらう。参加については難しいことを考えないで、単純なことをやりながらやっていく。ある意味においては、人材バンクを作れると良いと考える。

○「具体的に何をしたいかを、はっきりした方が協力しやすい。」という意見があったが、最終的には「地域の団体や地域の住民が学校のために何が出来るか」という考え方で到達出来れば、それが一番良い学校と地域の在り方と考える。挨拶をしたり、行事の垣根を低くして多くの方に気軽に来てもらったりする積み重ねの中で、「学校と地域は大事」「地域の子どもは大事」「自分は子ども達のために、学校のために何が出来るのかな」と心の持ちようを持っていけたら、最高だと思う。

○子ども達にとって、名前を知らなくても、顔を知っている大人がたくさんいることが、防犯と安全にすごく繋がっていくと思う。

○コロナで中断となった鼓笛がそのままの理由について、先生の働き方改革の問題もあると以前言われた。先生の働き方改革ももちろん重要だが、地域の人はずっと子ども達の鼓笛をとて楽しんでにしている。

○登校時に子ども達と地域の人が、お互いに明るく元気に挨拶することによって、自然と繋がるのではと思う。

また、自分は、自分の自治会等で「今日は学校で何があり、行くことになっている」などのアピールをしていなかったのを反省している。自分のところの地域の繋がりを大切にしていけば、自然と子ども達や学校に興味湧くのではと考えている。

○昨年に引き続き、鶴ヶ島の企業や大学と連携を取り、子ども達の好奇心を引き出して、そのことを家庭で家族に話しをすることで、地域との繋がりを作るきっかけにして欲しい。

応援団の活動をホームページに引き続き載せて、こんなことをしているということを保護者でも誰でも把握出来るようにして欲しい。

鶴ヶ島のことを知って、考えるようなことを子ども達に教えて繋げていくことが出来たら、鶴ヶ島の郷土愛ができて、引き続き鶴ヶ島が栄えるのでは考える。

○学校に人を集めるにあたって、学校の方針や理念を共感してもらわなければ、人は動機付けられない。「私達の学校は、こういうものを求めています」というものを、開かれたイベントや授業を実施して、何かしらの形にして伝えていったらとを感じる。

また、地域が支えてくださっている力（担い手）の継承が心配である。そのためには、地域の人達がどう活躍しているか、それを見た時に「何か楽しいなあ」「何かいいなあ」「自分もやりたいなあ」と動機付けさせるような見せ方が大事だと思う。

<会長>

集まった意見を踏まえて、学校側から何か思ったことや感想をお話しいただきたい。

<校長>

皆さんの生の声を聴かせていただくことで、こういう考えやアイデアがあるのかと、とてもよくわかった。

地域の方に子ども達の様子や授業の様子を見ていただくのはとても大事と思っている。実現出来るかはわからないが、例えば学校公開日をもっと地域の方に開放しても良いのではないかと考える。子ども達の様子を見ていただくことが、一番我々の取り組みの結果が見えると思うので、子ども達の様子をぜひ地域の皆様にも見ていただくような機会を考えていけたらと思っている。

鼓笛については、前年度までの色々な取り組みもあったので、まずご意見を踏まえて、こういった形や方法が出来るかを考えていきたい。

<事務局 教頭>

この場ですぐにお約束出来ることは中々難しいが、出来ることとしてまず、職員や地域の方々がどんなに学校に関わっているかを、お便りやホームページでPRし

ていく。また、こちらから理念やニーズを発信出来れば良いと感じる。

<事務局 教頭>

今年度の運営協議会の実施予定を周知した。

<事務局 教頭>

閉会宣言をした。

(閉会后、校内参観を行った)